

1 単答記述問題

誤字，脱字，漢字間違いは0点。

2 論述問題

- ① 「設問別加点基準」に基づき加点する。また，その他各問題の主旨に適した解答にも適宜加点する。ただし，満点を超える得点は与えない。
- ② 以下の「共通減点基準」に基づき減点する。

3 共通減点基準

- ① 加点要素における誤字・脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 下線の付け忘れは（1つの設問につき）1点減点。
- ③ 指定用語不使用は1点減点。
- ④ 字数オーバーは1点減点。

*減点しなくていい要素，その他の注意

- ① 地理用語に関して，漢字の新字体／旧字体や，スロヴェニア⇄スロベニア，パキスタン⇄パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては減点はしない。
- ② 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ③ 加点項目は内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。
- ④ 文章が未完のものも減点しない。

4 採点記号について

1. <□□□□> 加点ポイント
2. □□□□× 事実誤認あり
3. □□✓□□ 誤字あり／脱字あり

5 設問別加点基準

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ当該加点ポイントにおける加点はしない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○／△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。
- 3) 「② (①の説明として)」は、加点ポイント①を正解していなくても、加点ポイント②に該当すれば加点する。

第1問

設問A

(1) 3点

a-ア b-イ c-オ d-ウ e-エ

※5個正解 →3点 3~4個正解 →2点 1~2個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 2点

水源域は湿潤地域に位置するが、下流域では乾燥帯を貫流する。(29字)

【加点ポイント】

- ① 水源域／上流 は湿潤地域である →1点
- ② 下流域は乾燥地域である →1点

※①②を併せて「湿潤なところで水を得て、乾燥地域へ流れる」などでも可 →2点

(3) 3点

温帯草原の豊富な腐植を含む肥沃な黒色土が分布するため、小麦やとうもろこしなどを大規模に栽培する穀倉地帯となっている。(58字)

【加点ポイント】

- ① (植生として) 温帯草原／長草草原／草原／パンパ →1点
- ② (土壌の特色として) 肥沃／腐植が多い + 黒色土／パンパ土 → 両方で1点
- ③ 小麦／とうもろこし／アルファルファ を大規模に栽培
穀倉地帯
小麦栽培と牛の放牧 } → いずれかで1点

2018年度 第3回10月東大本番レベル模試 地理 採点基準

(4) 4点

中流で低温の乾季に落葉する広葉樹林，河口で熱帯雨林が分布するが，焼畑農業の拡大，換金作物の農園を含む耕地の拡大，養殖池造成，ダムや道路の建設，戦乱などで森林の伐採・破壊が進んだ。(89字)

【加点ポイント】

- ① (植生として) 落葉広葉樹林／熱帯雨林 →1点
- ② (植生の変化として) 森林伐採／森林破壊／森林の減少 →1点
- ③ (②の人為的要因として)

- ・焼畑農業
- ・森林の耕地化／農園開発／換金(商品)作物の栽培／アブラヤシの栽培
- ・養殖池造成／エビの養殖
- ・ダム／道路 の建設
- ・戦乱／インドシナ戦争／ベトナム戦争／カンボジア内戦

} → 1つ1点
2点まで

設問B

(1) 4点 【指定語句】 乾燥 湿潤 蒸発量 3つ全て 下線付きで使用

いずれも季節による湿潤・乾燥の差が明瞭な地域だが，冬湿潤の硬葉樹林分布域とは逆に，照葉樹林分布域は夏湿潤であり，夏の高温下では蒸発量が大きく，それを上回る大量の降水が必要だから。(89字)

【加点ポイント】(___下線の付け忘れは，いくつあっても1点減点)

- ① (両地域の共通点として) 乾季がある／湿潤・乾燥の季節差が明瞭 →1点
- ② (硬葉樹林の地域について) 夏乾燥／冬湿潤 →1点
- ③ (照葉樹林の地域について) 夏湿潤／冬乾燥 →1点
- ④ 夏湿潤の地域の方が(冬湿潤より) 蒸発量が多いため(樹木の生育には)多くの降水が必要 →1点

(2) 4点

砂漠由来の風積土が堆積し，排水のよい農耕に適した土壌だが，侵食されやすく，農耕の拡大に伴う土壌流出により不毛の地となる砂漠化が深刻化し，耕作を放棄して植林するなどの政策がとられた。(90字)

【加点ポイント】

- ① (土壌の特徴として) レス／風積土／水はけがよい／農耕に適している／肥沃 →1点
- ② (主要な環境問題として) 土壌流出／表土流出／砂漠化 →1点
- ③ (②の背景として) 耕地拡大／農地開発／農業／放牧／森林伐採 →1点
- ④ (②の対策として) 植林／退耕還林／退草還林 →1点

2018年度 第3回10月東大本番レベル模試 地理 採点基準

第2問

設問A

(1) 2点

A－日本 B－ドイツ C－韓国 D－アメリカ合衆国／アメリカ E－中国

※5個正解 →2点 1～4個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 3点

日本の輸出超過による貿易摩擦と輸出に不利な円高を受けて、企業が欧米に工場を建てて現地生産を増やし、輸出を減らしたため。(59字)

【加点ポイント】

★(1)で「A－日本」を正解していることが加点の前提

① 貿易摩擦／日本の輸出超過／日本の貿易黒字の拡大／欧米国の貿易赤字の拡大 →1点

② 円高 →1点

③ 日本企業の 海外進出／(欧米での)現地生産 →1点

(3) 4点 【指定語句】

労働力 税制優遇 需要

 3つ全て 下線付きで使用

豊富で安価な労働力を求める外国企業を税制優遇のある経済特区や経済技術開発区に誘致し、世界一の自動車生産国となったが、多くは経済成長で需要が膨らむ国内市場に供給され、輸出は少ない。(89字)

【加点ポイント】 (___下線の付け忘れは、いくつあっても1点減点)

★(1)で「E－中国」を正解していることが加点の前提

① (成長の背景として) 外国企業の誘致／外資の導入 →1点

② (①の背景として) 税制優遇のある 経済特区／経済技術開発区 の設置 →1点

③ (①の背景として) 豊富な労働力／安価な労働力 →1点

④ (輸出が少ない理由として) 国内需要の増加／国内市場に多く供給される →1点

2018年度 第3回10月東大本番レベル模試 地理 採点基準

設問B

(1) 各1点

- a - ロードプライシング制度 / ロードプライシング
- b - ハイブリッドカー / ハイブリット自動車 / ハイブリッド車

(2) 3点

標高が高く酸素が薄いためエンジンが不完全燃焼を起こしやすく、山に囲まれた盆地にあるため汚染された空気が滞留しやすい。(58字)

【加点ポイント】

- ① (地形的要因として) 標高が高い →1点
- ② (①の結果として) エンジンが不完全燃焼を起こす →1点
- ③ 盆地 / 周囲が山 なので 汚染物質が (都市内に) とどまる / 出ていかない →1点

(3) 3点

郊外の駐車場で自家用車から公共交通機関に乗り換えて都市中心部へ向かう仕組みであり、渋滞の緩和で排ガスの量が抑制される。(59字)

【加点ポイント】

- ① 自家用車から 公共機関 / 電車 / 路面電車 に乗り換える →1点
- ② (①の場所として) 郊外 / 都市の外側 →1点
- ③ (利点として) 排(排気)ガスの抑制 / 大気汚染物質の削減 / 酸性雨問題の改善 →1点

(4) 3点

電池の原料となるリチウムを豊富に得られる塩原が多いが、政情が不安定で資源の政治的利用も懸念され、安定供給に不安が残る。(59字)

【加点ポイント】

- ① 電池の原料となる リチウムの産地である / リチウムの採れる塩原がある →1点
※「塩原」の有無は不問。「リチウム」を指摘していること。
- ② ①の安定供給に不安がある / 輸出停止の不安がある →1点
- ③ (②の理由として) 政情不安 / 資源の政治的利用 / 国際関係悪化による輸出停止 の懸念 →1点

第3問

設問A

語群

気圧	強風	経済成長	砂泥	地下水
地盤	都市化	内水	排水	氾濫

(1)(2)共通

使用箇所には下線を引く

(1) 3点 ★「語群」から2語以上 下線付きで用いること (語句不足, 下線なし -1点)

河川が運んだ砂泥の堆積する低平な沖積平野が広がり, 高度経済成長期の工業化と都市化の下で, 海岸部では埋め立てが進み, 大量の地下水を揚水した地域では地盤沈下で海拔未満地区を形成した。(89字)

【加点ポイント】

- ① 沖積平野である／砂泥が堆積してできた地盤である }
 ／河川の堆積作用でできた／三角州である } →1点
- ② (高度経済成長期に) 海岸部が埋め立てられた →1点
- ③ 地下水の過剰な汲み上げにより地盤沈下が起こった →1点

(2) 各2点 ★それぞれ「語群」から1語以上 下線付きで用いること (語句なし, 下線なし -1点)

Pは堤防決壊による河川水や, 排水しきれない内水が氾濫する。(29字)

【加点ポイント】

- ① 堤防決壊／河川の氾濫／外水氾濫／洪水 →1点 (「浸水」では加点しない)
- ② 雨水を排水しきれない／内水氾濫 →1点

Qは気圧低下や強風による海水の吸上げ, 吹寄せで高潮がおこる。(30字)

【加点ポイント】

- ① 高潮／高波 →1点
- ② (①の要因として) 気圧低下による海水の吸上げ (海面上昇) ／強風による海水の吹寄せ →1点

Rは津波被害や, 地盤の軟弱な砂泥地で液状化の被害がおこる。(29字)

【加点ポイント】

- ① 津波 →1点
- ② (地盤の／地下水による／砂泥が揺れて起こる) 液状化／液状化現象 →1点

2018年度 第3回10月東大本番レベル模試 地理 採点基準

設問B

(1) 3点

(a)ー名古屋市 (b)ー福岡市 (c)ー新潟市 (d)ー浜松市 (e)ーさいたま市 (f)ー横浜市

※6個正解 →3点 5～3個正解 →2点 1～2個正解 →1点 0個正解 →0点

(2) 2点

各地方の中核となる都市群と、首都圏で機能を分担する都市群。(29字)

【加点ポイント】

- ① 各地方の中核(中心地)となる／地方の中心地機能をもつ }
 ／地方中核都市／地方中枢都市／地方中心都市 } →1点
- ② 首都圏の機能を分担する／首都圏の衛星都市／首都圏のベッドタウン／首都圏と結びつく →1点
 ※都市の機能を問われているので「首都圏に近い」では加点しない

(3) 3点

地方分権推進とともに自治体広域化が促進され、指定を目指す各都市は、人口規模の条件を満たすために周辺の市町村を合併した。(59字)

【加点ポイント】

- ① (地方自治の情勢として) 地方分権が推進された／国の権限が地方に移譲された }
 ／国と地方が対等になった 等 } →1点
 ※「地方(公共団体)の権限が増大した」ことがわかれば加点する
- ② 市町村合併が増えた／市が周囲の小さな町村を合併した }
 ／自治体広域化が促進された／政府が市町村合併を促した } →1点
- ③ (政令指定都市移行のための取り組みとして) ②により人口規模の拡大(人口増加)を狙った →1点

(4) 3点

市域の多くを占める人口希薄な農村地区において、さらなる人口減少が社会資本整備や公共サービスの費用対効果を悪化させる。(58字)

【加点ポイント】

- ① (人口分布として) 人口集中地区の割合が低い／市の大部分が都市的地域ではない }
 ／農村地域が広い／都市化した地域への人口集中が進んでいない } →1点
- ② (人口動態として) もともと人口の少ない地域の人口がさらに減少している }
 ／農村(過疎)地域の人口がさらに減っている } →1点
 ／市の全域で人口が減っている }
- ③ (行政上の課題として) 道路・水道・学校などの社会資本(インフラ)整備の 負担が重い →1点
 (公共(行政)サービスの／住民サービスの) (コスト増加
 ／費用対効果が悪化)